

第41教育飛行隊の移動について

平成29年3月

防衛省

第41教育飛行隊の概要

概要



T-400

○ 飛行隊の概要

主要装備：T-400練習機 約10機

部隊規模：約30人

T-400 性能諸元

全長×全幅×全高	14.7m × 13.2m × 4.2m
重量	約7.3t
速度性能	0.78 Mach
航続距離	約3,000km

第41教育飛行隊(T-400)の移動の概要

- 航空自衛隊の航空機操縦者教育においては、輸送機及び救難機操縦者に対する教育の一部を、航空教育集団^(注1)とは別に航空支援集団^(注2)隷下の第41教育飛行隊(美保基地)が担任しており、一貫した教育体制が整備されていません^(注3)。
- これを、他の航空機と同様、一貫した教育体制を整備するため、第41教育飛行隊を美保基地から移動させて、航空支援集団から航空教育集団隷下に移すこととしました。
- なお、第41教育飛行隊の移動は平成32年度を予定しています。

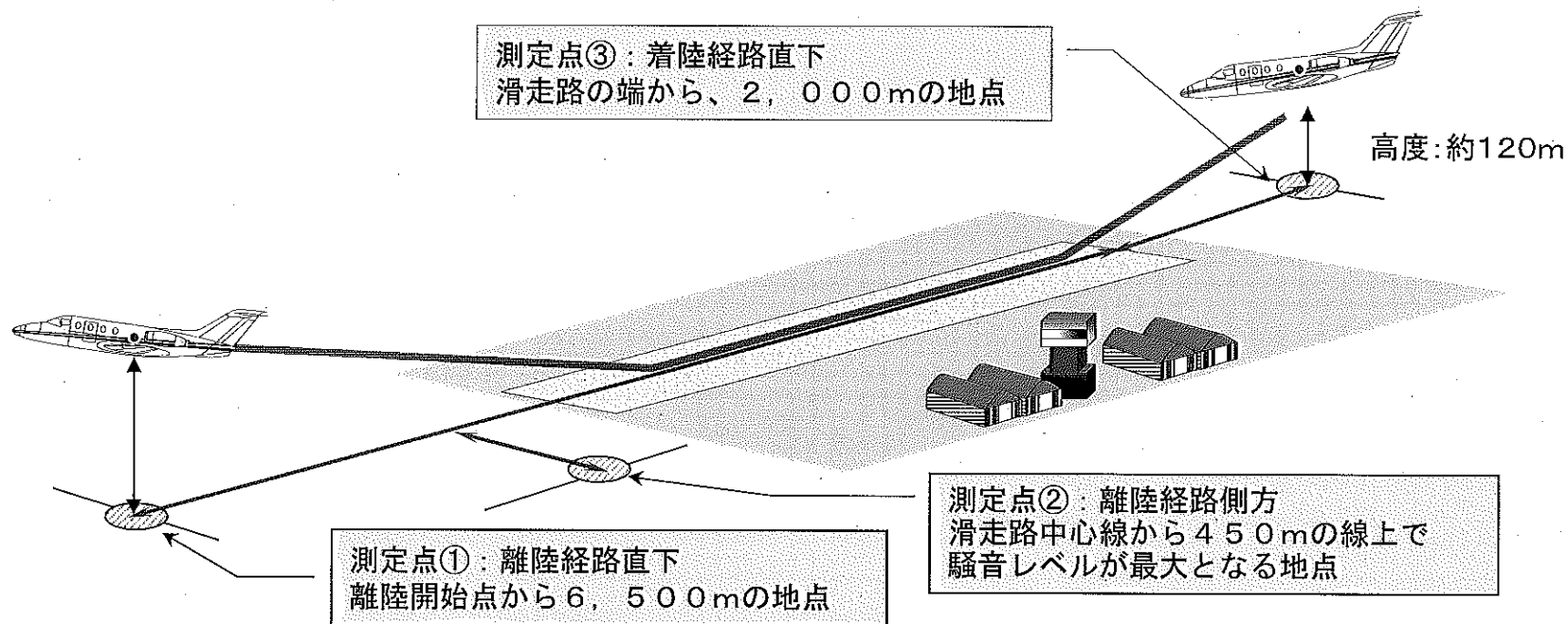
(注1) 航空教育集団：航空自衛隊員のあらゆる教育を一元的に実施する組織

(注2) 航空支援集団：航空作戦を実施する航空総隊を支援する組織。空輸、管制、気象、点検の機能を持つ部隊で構成されている

(注3) 戦闘機操縦者に対する教育は、航空教育集団隷下の部隊のみで一貫した教育体制が整備されている

第41教育飛行隊に配備されている航空機(T-400)の騒音値

- 国際民間航空機関 (ICAO) では、民間ジェット機の騒音について、離着陸時の3点を測定点とした基準を定めています。



<参考> 実効感覚騒音レベル※[単位:dB (デシベル)]

騒音測定点	T-400	KC-46A(推算値)
測定点①	約89	約90
測定点②	約94	約97
測定点③	約92	約97

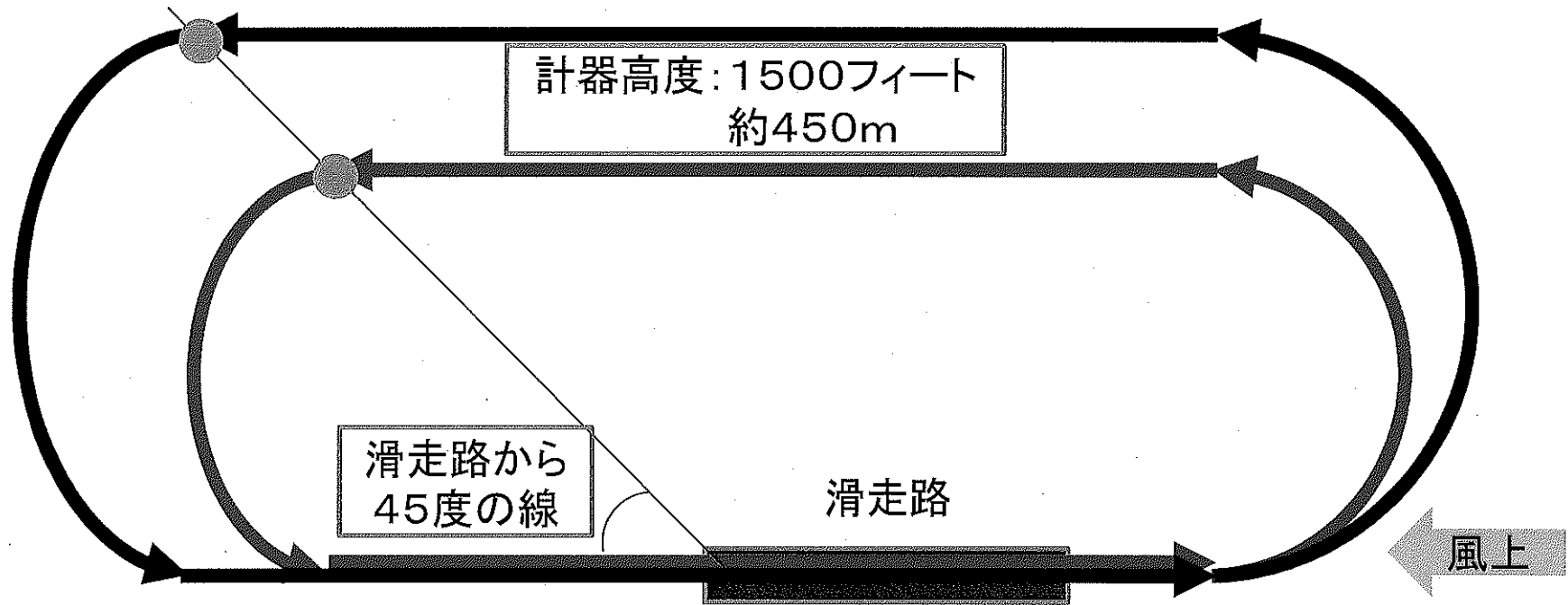
※:実効感覚騒音レベル(EPNL:Effective Perceived Noise Level)

音の「やかましさ」を基本とした騒音レベルに騒音の持続時間とエンジン特有の不快感の補正を加え、航空機1機の「より正確なやかましさ」を表現したもの。

參考資料

場周経路(基本)

○場周経路(トラフィック・パターン)とは、着陸する航空機の流れを整えるために、滑走路周辺に設定された飛行経路のこと



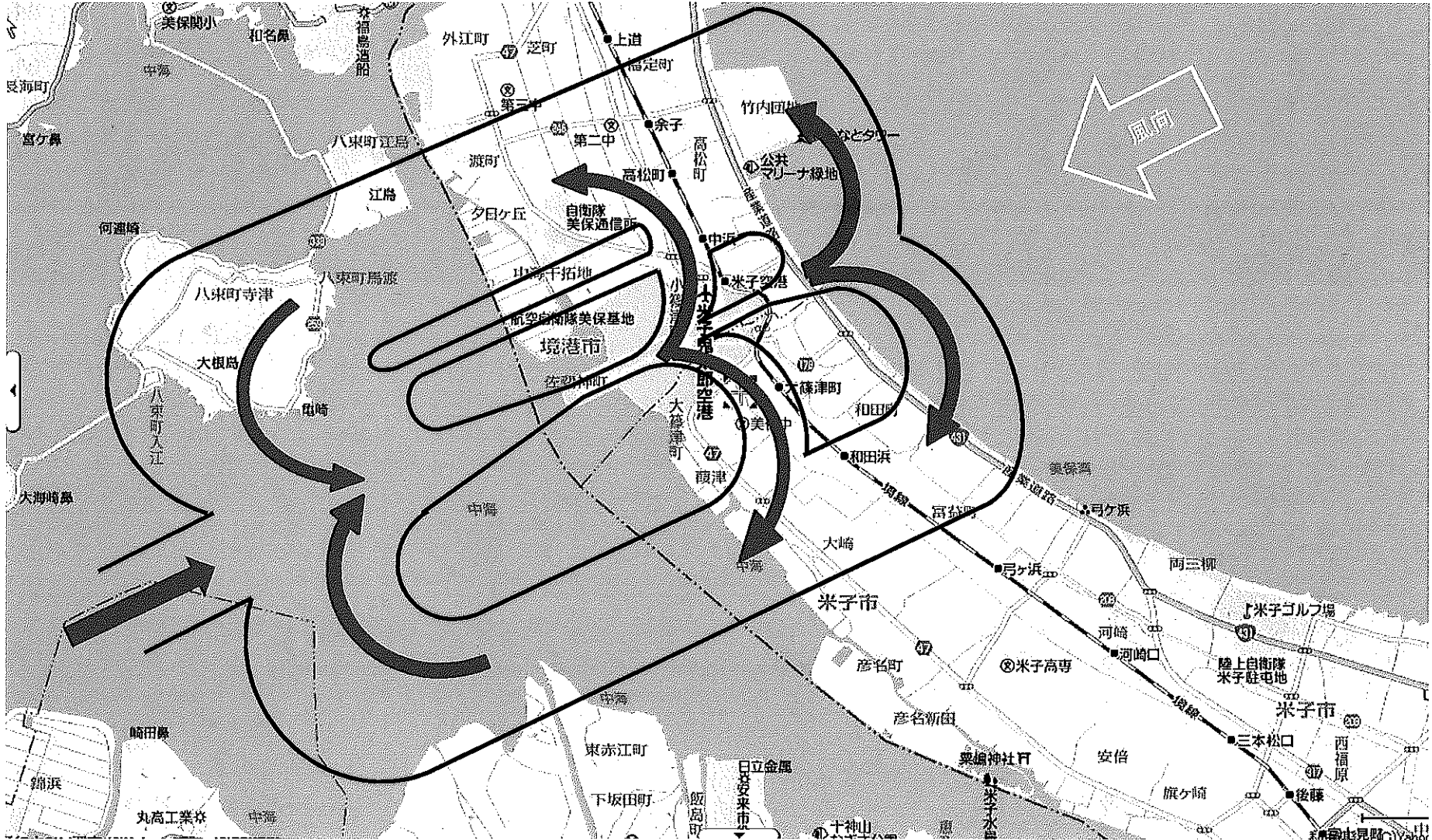
滑走路方向は、接地時向かい風になるように選定
旋回方向は左旋回が基本(コックピットレイアウト)

●BASE Pt: 着陸を行う上での基本となる地点

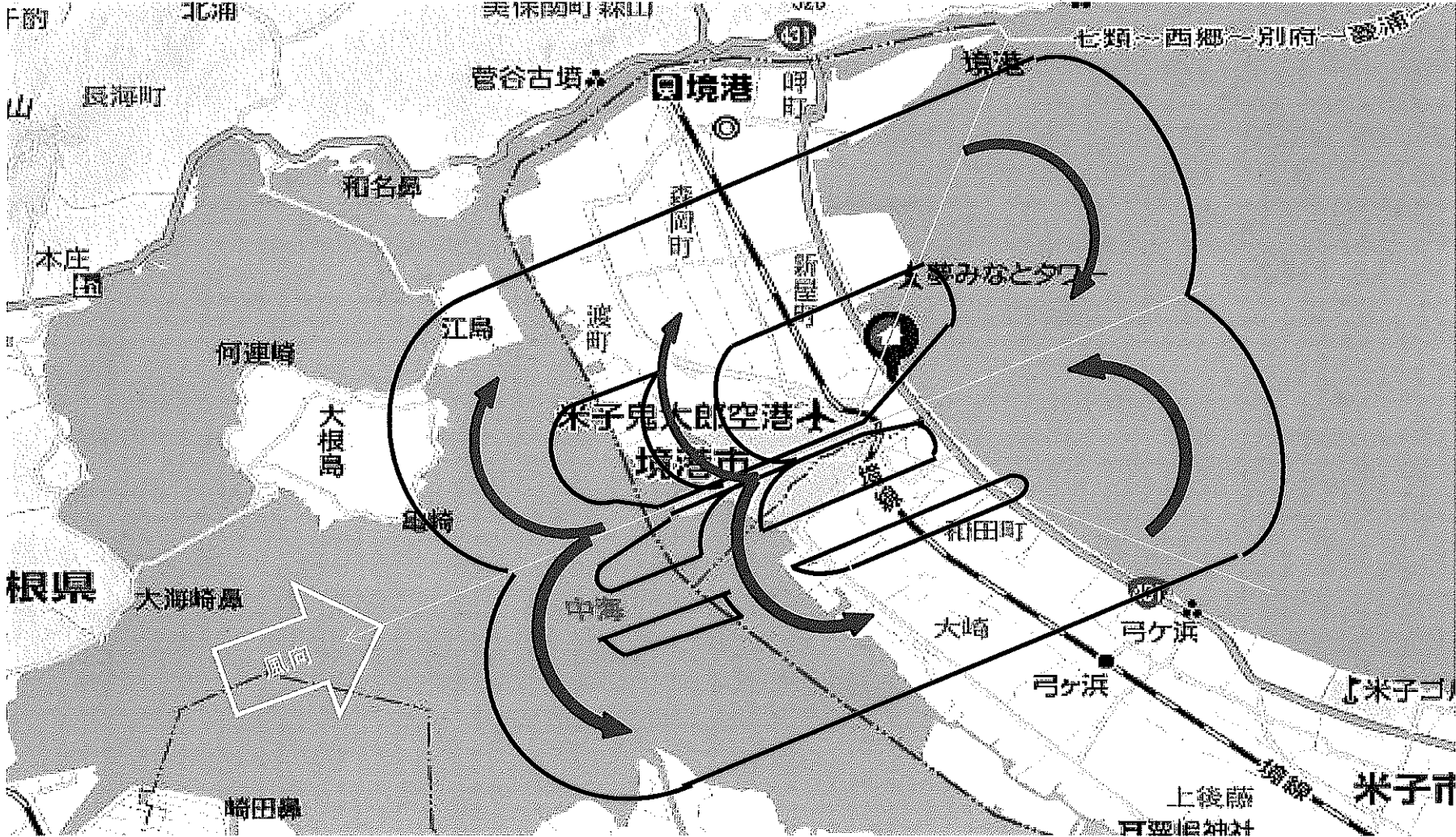
通常着陸訓練

緊急着陸訓練

美保基地周辺における離着陸経路(基準)(RWY07)



美保基地周辺における離着陸経路(基準)(RWY25)



教育フロー

